



白馬村への訪問

1月22日(水)～24日(金)、太地小学校の5年生15名が、姉妹都市である長野県白馬村を2泊3日の行程で訪れました。

雪遊びやレクリエーション、ふるさとや学校の紹介をして、白馬北小学校の4年生と交流しました。

今年の夏には、白馬北小学校の児童が太地町を訪問する予定です。

目 次

令和5年度 太地町の決算	2
令和5年度 主要施策の成果	4
トピックス・お知らせ	10
住民福祉課便り	13
全国春の火災予防運動	14
社会福祉協議会便り	16
学芸員便り・くじらの博物館便り ...	20
保健衛生関係行事予定	22

令和5年度・太地町の決算

太地町の令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）決算の概要をお知らせします。
一般・特別会計を合わせた決算額は、歳入が57億2560万円、歳出が54億9192万5千円となりました。
限られた予算を有効に活用し、町民の皆様の生活向上につなげる努力を今後も続けてまいります。

令和5年度 会計別決算状況

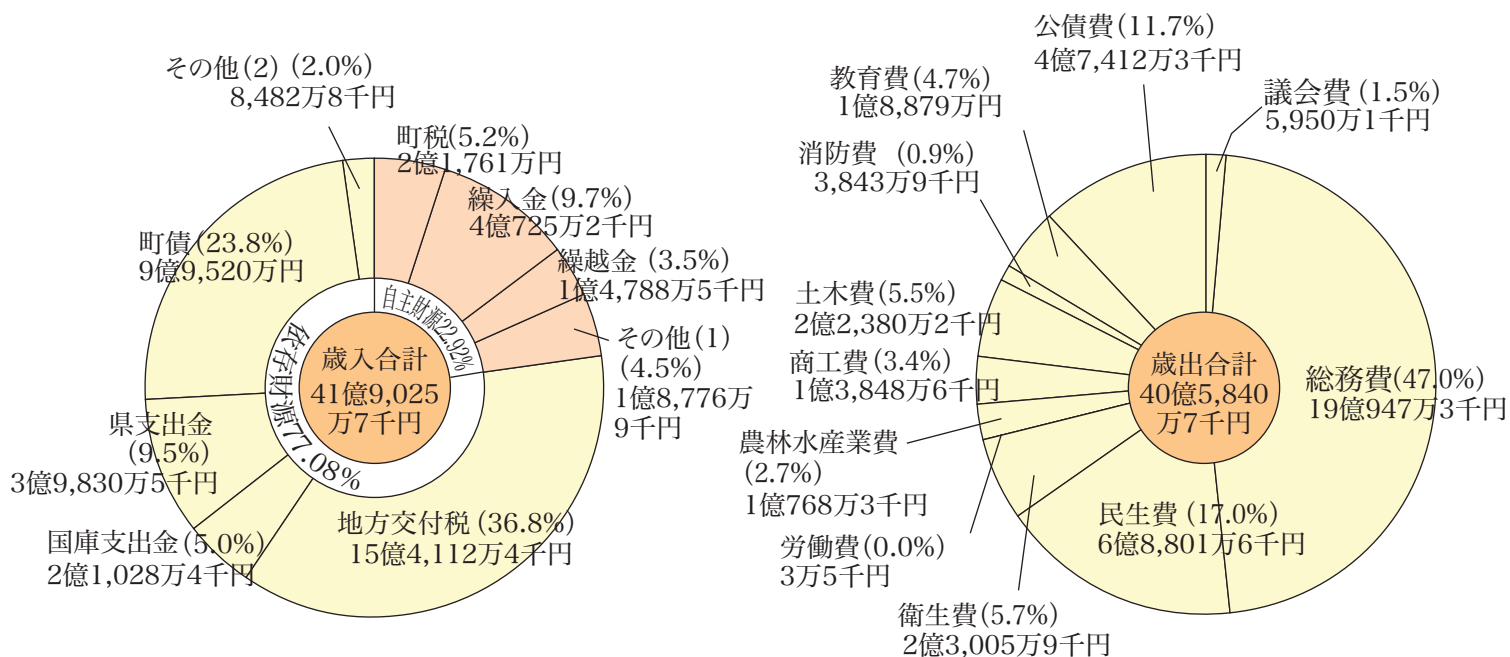
会 計 別	歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計	41億9,025万7千円	40億5,840万7千円	1億3,185万円
国民健康保険事業	4億5,384万2千円	4億4,990万3千円	393万9千円
介護保険事業	5億782万円	4億7,384万9千円	3,397万1千円
後期高齢者医療事業	1億1,899万1千円	1億1,798万3千円	100万8千円
公共下水道事業	6,090万3千円	4,787万1千円	1,303万2千円
くじらの博物館事業	3億9,378万7千円	3億4,391万2千円	4,987万5千円

※端数調整により差額が生じます。

企 業 会 計	歳 入	歳 出	差 引
水 道 事 業	8,406万6千円	7,708万8千円	449万5千円

※水道事業の収支は消費税の計算により差額が生じます。

一 般 会 計

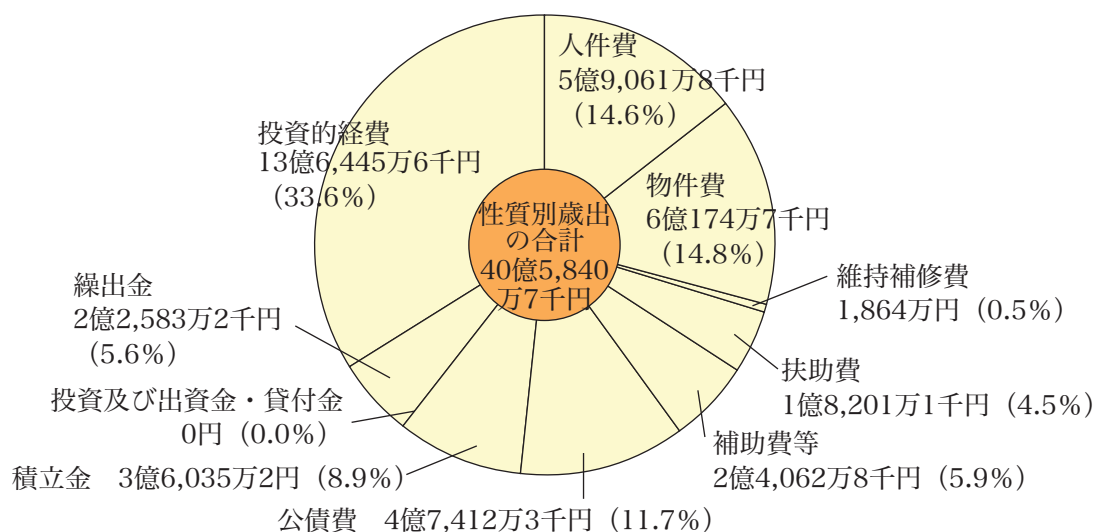


《グラフの解説》

歳入を調達方法の面からみると、自主財源と依存財源の二つに分類されます。

自主財源とは、町が自ら徴収または収納できる財源で、当町の場合、歳入の約23%を占めています。また、依存財源とは、国や県から交付されるものや借入金などで、歳入の約77%を占めています。

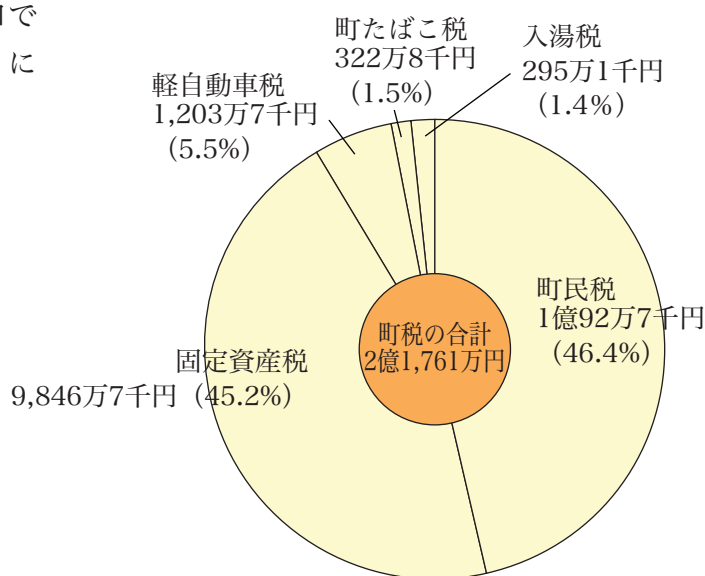
その他(1)の内訳	
分担金及び負担金	598万円
使用料及び手数料	764万1千円
財産収入	720万6千円
寄附金	1億2,651万円
諸収入	4,043万2千円
その他(2)の内訳	
地方譲与税	1,045万9千円
利子割交付金	11万6千円
地方消費税交付金	6,289万8千円
環境性能割交付金	143万円
地方特例交付金	236万円
配当割交付金	232万8千円
株式等譲渡所得割交付金	232万4千円
法人事業税交付金	291万3千円



各項目の町税を住民基本台帳による人口で町民1人当りに換算すると、下記ようになります。

※住民基本台帳 人口 2,826人
(令和6年3月末現在)

町民税	35,714円
固定資産税	34,843円
軽自動車税	4,259円
町たばこ税	1,142円
入湯税	1,044円
合計	77,002円



令和5年度町債借り入れ状況（一般会計）

種 別	借入額 (千円)	主な事業	令和5年度末 現債額(千円)
臨時財政対策債	6,300		662,781
過疎対策事業債	965,600	ハード事業 ・町道新設改良事業 ほか 20 件 ・（繰越）国際鯨類施設整備事業 ほか 4 件 ソフト事業 ・じゅんかんバス運行事業 ほか 3 件	4,452,649
緊急防災・減災事業債	20,200	・避難路整備事業 ほか 4 件 ・（繰越）避難路整備事業	308,594
その他町債	3,100	災害復旧事業	361,746
合 計	995,200		5,785,770

令和5年度 主要施策の成果

総務関係

今年度は、中止していた姉妹都市オーストラリア・ブルームへの中学生派遣交流事業を再開するなど、新型コロナ後の社会情勢に配慮しながら、各種事業を実施した。

財産管理関係では、交付金を活用して、昨年に引き続き5件の空き家の取壊しを行った。

企画関係では、国際鯨類施設を竣工することができた。また、高台の有効活用や駅前整備の観点から土地を取得した。

防災面では、例年同様、国・県の補助金を活用して耐震診断、耐震改修、家具類転倒防止対策支援事業、ブロック塀撤去事業を実施するとともに、暖海地区に避難路を整備した。

じゅんかんバス事業においては、バス待合所を整備し、自動運転の路線を暖海地区への延長する工事を行った。また、バスの乗車料金を無償化することにより利用者の利便性の向上を図った。

地域創生面では、森浦湾くじらの海事業において本浦駐車場を整備し利便性の向上を図った。

ふるさと納税事業については、令和5年10月の制度改正の影響を受け、寄附金額が前年度比約26,400千円の減となった。

財政関係では、約45,000千円の基金の減少となった。

税関係では、粛々と滞納処分を進め、滞納残高の圧縮に努めた。

(単位：千円)

事業	金額	備考
家屋等解体撤去事業	11,843	5軒の空き家を解体撤去
国際鯨類施設整備事業	93,864	国際鯨類施設の整備
町営じゅんかんバス運行事業	73,486	じゅんかんバス、フリー乗降バス、自動運転車両の運行及び整備
森浦湾くじらの海事業	36,776	本浦駐車場の整備と森浦湾くじらの海事業の運用
旧グリーンピア南紀管理事業	18,321	施設の維持管理
ふるさと納税事業	70,787	業務委託、返礼品等
基金積立	360,352	財政調整基金、減債基金、ふるさと創生事業基金の積立

民生関係

社会福祉関係では、今年度においても、物価高騰に対する生活・経済対策の一環として住民税非課税の世帯へ10万円（価格高騰緊急支援給付金）を給付した。

また、地域福祉の推進を図るため、社会福祉協議会へ助成するとともに、地域のケアマネジメントを総合的に行うため、専門職員を派遣し地域ケア事業を実施した。

高齢福祉関係では、高齢者が地域で安心して暮らすことができるよう、介護予防事業等を実施した。また、要望が多くあった買い物ツアーや、通院の送迎サービスを実施した。

障害福祉関係では、関係機関との連携を図り、安心して利用できるサービスの提供に努めた。

地域福祉センター棟関係では、町民の介護予防、健康づくり、生きがいつくりの拠点として、事業を実施した。また、各種維持修繕工事を実施し、施設の長寿命化を図った。

児童福祉関係では、少子化対策として、生まれた子ども1人につき30万円の支給を行い、小中高の入学時に各5万円の祝金を支給した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
社会福祉費	11,853	地域ケア事業委託料
	35,489	社会福祉協議会助成金
	60,200	価格高騰緊急支援給付事業
	32,506	国民健康保険事業会計への繰出金
老人福祉費	4,310	介護予防事業委託料
	354	買物等支援事業委託料
	71,541	介護保険事業会計への繰出金
	72,479	後期高齢者医療事業会計への繰出金
障害者（児）福祉費	12,062	医療費（自立支援医療費・療養介護医療費・重度心身障害児（者）医療費）
	124,103	障害者（児）福祉サービス費
乳幼児医療対策費	8,377	乳幼児医療費、就学児医療費
ひとり親福祉費	1,159	ひとり親医療費
地域福祉センター棟管理費	13,295	施設維持管理
児童福祉費	3,000	出産祝金
	1,100	出産・子育て応援交付金
	22,830	児童手当
	1,230	在宅育児支援給付金

衛生関係

保健関係では、住民が「健康でありたいと願い行動する町」を目指し、引き続き各種検診や健康教育等の利用を促進した。疾病予防対策では、健（検）診の利便性向上、健（検）診の精度管理の整備、予防接種の推進に努めた。本年度においても、新型コロナウイルス感染症による重症者の発生やまん延防止を図るため、新型コロナウイルスワクチン接種を円滑・適切に行えるよう、接種体制の整備（確保）に努めた。

環境衛生関係では、環境保全を図るため、飼い主のない猫の繁殖を制限するための措置を講じた。

清掃関係では、廃炉となっている建屋を分別回収場として整備するための基本設計を行った。

し尿処理関係では、し尿処理施設の運営に要する経費を負担し、また浄化槽設置補助を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
予防費	6,789	予防接種費委託費
	3,055	新型コロナウイルスワクチン接種事業費
母子対策費	4,245	母子保健事業費（健診・相談・健康教育等）
健康増進費	4,524	健康増進費（健（検）診・相談・訪問等）
環境衛生費	72	飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助金
塵芥処理費	144,198	清掃センター事業費
し尿処理費	14,354	環境衛生一部事務組合負担金
	3,320	浄化槽設置費補助金
公衆便所管理費	1,091	公衆便所管理費

労働関係

労働者福祉の促進を図るため、新宮東牟婁地域労働者福祉協議会に対し、助成事業を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
労働諸費	30	新宮東牟婁地域労働者福祉協議会助成金

農林水産業関係

農林業、漁業の振興活性化を図るため各団体への助成事業を行った。

農業関係では、鳥獣害防止対策として、有害鳥獣の対策事業及び捕獲事業を行った。また、令和3年度廃止した桑原の池について、水路の法面工事を実施した。

林業関係では、林業振興事業として、本年度も紀州材を活用したベンチを作製し、町内に設置した。

水産関係では、漁業振興にかかる事業として、稚貝稚魚放流事業、磯根漁場再生事業を実施したほか、漁業者の安全を守るため改正を行った小型無人機の飛行禁止にかかる条例について、看板を設置した。また、漁港管理事業として、向嶋船揚場の改修工事を昨年度に引き続き実施、漁港内施設維持のため、公衆便所等の管理に加え港内漂着物の処理、支障木の伐採等を行った。

捕鯨対策費としては、関係機関との連携や協力を図りながら、地域捕鯨を守り、商業捕鯨継続に向け取り組んだ。

(単位：千円)

事業	金額	備考
農業総務費	1,947	桑原水路法面工事
鳥獣被害防止事業費	2,345	鳥獣有害駆除報償費他
林業振興費	589	紀州材ベンチ製作（13基）
	199	松くい虫薬剤散布駆除
水産総務費	1,275	水質検査、海岸漂着物処理委託料
漁業振興費	375	磯根漁場再生事業委託料
	499	中間育成魚購入費
	1,800	稚貝稚魚放流事業助成金
	198	看板製作委託料（小型無人機飛行禁止看板）
漁港管理費	83,682	向嶋船揚場改修事業（測量設計、附帯施設、給水管工事ほか）
	728	太地漁港標識灯更新事業
捕鯨対策費	30	捕鯨を守る全国自治体連絡協議会負担金

商工関係

商工では、コロナ禍において冷え込んだ消費を下支えするため、昨年度に引き続き商品券配布事業を行った。また、例年同様、南紀くろしお商工会への助成等により、商業の振興を図るとともに、近年問題となっている消費者トラブルについて、防止等の啓発に努めた。

観光では、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、観光推進の機運が高まる中であって、例年実施するくじらと触れ合える海水浴場の運営、公衆便所をはじめとする各園地・施設等の管理や整備を行った。

夏山園地については、高台に建設した公衆便所の周辺を整備するとともに、旧公衆便所の取り壊しを行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
商工総務費	15,477	商品券配布事業
	4,100	南紀くろしお商工会助成金
	379	公設市場負担金
	333	商工業活性化資金利子補給助成金
観光費	4,993	くじら浜海水浴場事業
	2,790	花畑整備事業（人件費含む）
	63,093	夏山園地整備事業（公衆便所取り壊し含む）
	1,682	燈明埼園地整備事業
	1,617	くじらのモニュメント照明整備事業

土木関係

生活道路の安全・安心な交通を確保するため、道路維持関連を 8 事業、道路改良関連を 3 事業実施した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
道路維持費	42,163	常渡線舗装修繕工事
	20,771	太地隧道照明修繕工事
	893	汐入地区道路修繕工事
	1,507	森浦地区鉄橋修繕工事
	5,772	燈明梶取崎線舗装修繕工事
	506	夏山地区水路堆積土撤去工事
	2,255	向島海岸線修繕工事
	363	常渡地区側溝改修工事
道路改良費	10,214	北通谷地区道路新設工事
	1,194	北通谷地区道路新設工事（舗装）
	11,976	平見 1 号線側溝改修工事

消防関係

救急関係では、救急技術向上のため消防署主催のメディカルコントロール協議会への参加、小中学校の生徒や住民に対して応急処置、AED 取扱い等の講習会を開催した。また、消防学校へ職員を派遣し、新規救急隊員を育成した。

消防団関係では、夜間でも目立ち消防団員の安全が図れるよう作業服のベルトをオレンジ色に変更した。

(単位：千円)

事業	金額	備考
常備消防費	9,571	救急関連事業
非常備消防費	2,014	消防関係被服類等購入費
	290	消防ホース
	98	免許取得助成金

教育関係

本町は「かしこくて、丈夫で、やさしい子どもの育成」をスローガンとし、町の文化、伝統を学ぶ取り組みの充実、人を思いやる優しい心の育成、確かな学力の定着を目的に、地域と学校と家庭が一体となって教育行政を推進した。

児童福祉費では、太地こども園において平成 30 年度から 0 歳児保育を開始し、よりきめ細やかな保育の充実に努めた。また、給食費の無償化を実施した。

学校教育では、「確かな学力の定着」「豊かな人間性の育成」「地域に根ざした学校づくり」を基本方針としてきめ細やかな指導をおこなった。

小・中学校費では教具・教材費及び給食費の無償化を実施した。

教育委員会事業では、平成 18 年度より和歌山県子どもの安全対策事業として、通学路セーフティ

ネットの日が設けられ、学校教員、安全ボランティアの協力により実施した。

また、令和5年度より、生徒通学費補助事業を開始した。

小児生活習慣病予防対策事業、社会教育における生涯学習講座、公民館事業など、青少年健全育成事業としては、引き続き啓発活動や子どもの見守り活動など、保健体育では、太地町持久走大会、各種体育関係事業などを実施した。

教育委員会関係工事については、小学校ではキュービクル建替工事等、中学校では屋根瓦改修工事、こども園では遊戯室窓増設工事等を行った。

(単位：千円)

事業	金額	備考
児童福祉費	11,976	学童保育所運営費
	85,952	太地こども園費
事務局費	2,342	青少年センター分担金
	3,097	外国青年招致事業費
小学校費	1,709	校舎校具等維持修理費
	2,199	教具・教材費
	2,574	教材備品、図書、給食備品、スキーウェア
	7,301	学校給食費
	146	サポート教室扇風機設置工事
	15,808	キュービクル建替工事
	1,122	1階児童トイレ改修工事
	209	就学援助費
中学校費	2,564	校舎校具等維持修理費
	965	教具・教材費
	593	校具備品、図書、給食備品
	2,960	学校給食費
	1,496	屋根瓦改修工事
	129	就学援助費
社会教育総務費	993	カレンダー印刷製本費
公民館費	350	維持管理費
	127	図書
	1,518	スクールバス車庫雨漏対策工事
	605	非常用照明改修工事
	292	折りたたみ椅子
石垣記念館運営費	539	展示室ピクチャーレール等設置工事
保健体育総務費	265	スポーツ少年団活動助成金



12/2(月) 交通安全街頭啓発

12月1日(日)～10日(火)の「わかやま冬の交通安全運動」期間に合わせて、本町では、小畑石油付近の交差点において、街頭啓発を行いました。

新宮警察署、交通安全協会、交通安全母の会、交通指導員の方々のご協力の下、ドライバーの方々に啓発物資を配布し、交通安全を呼びかけました。

1/30(木) 中学生議会

太地町議会議場において、太地中学校生徒議会を開催しました。

3年生の生徒が議長や議員を務め、町執行部に対して要望や質問を行いました。

執行部の答弁に対して、さらに具体的な鋭い質問をぶつけるなどし、密度の濃い時間となりました。

質問の内容は、災害時の自衛隊派遣や避難路の整備等の防災関連をはじめ、町有施設や自由乗降バスなどの企画政策関連、クラクスヴィークとの姉妹都市交流のイベント関連など、多岐にわたりました。



太地町 **生**き **生**き情報コーナー

お知らせ

じゅんかんバス時刻改正について

3月15日(土)より、町営じゅんかんバスの時刻改正を行います。時刻改正系統は、自由乗降バスとなっていますので、時刻表をご確認のうえご乗車ください。

【改正系統】

- ☆ 1便目 F6 始発「白鯨前」に変更
- ☆ 5便目 F1 太地中学校のバス停以降の時刻が1分遅く発車
- ☆ 7便目 F2 「西地」バス停を経由
- ☆ 12便目 F5 「なぎ」発車時刻を3分早めて運行

乗降人数等の都合で時刻表より遅くなる場合がありますので、ご了承ください。

太地町役場 総務課

お知らせ

じゅんかんバス回数券の払戻しについて

現在、じゅんかんバス回数券の払戻しを行っています。回数券をお持ちの方は、役場までお越しください。

【場 所】 太地町役場 出納室

【時 間】 8時30分～17時15分（土・日・祝日は除く）

【期 間】 令和7年3月31日まで

【問い合わせ】 太地町役場総務課 電話：0735-59-2335

お知らせ

第28回 太地町教育委員会ソフトバレーボール大会開催について

親睦と交流を一層深めるために、標記大会を下記により開催します。くじ引き景品も用意していますので奮ってご参加くださいますようご案内いたします。

【日 時】 令和7年3月30日（日） 開会式 8時30分 太地中学校 集合 8時15分

【試合会場】 太地小学校・中学校体育館

【参加申込】 各チーム最大2チームまでとします。

なお、チーム名は〇〇A・〇〇Bで申し込みください。

【試合方法】 混成のみ（試合には男子2名以内・ただし55歳以上の男子は女子扱い可）

予選はリーグ戦方式

決勝戦・敗者戦はトーナメント方式

なお、組合せ抽選は、主管者において行い当日発表します。

【申込締切】 令和7年3月19日（水）（必着）

【受 付】 〒649-5171 太地町太地 3077-13（太地町教育委員会）

【連 絡】 TEL 0735-59-2335 FAX 0735-59-3375

主催 太地町教育委員会 協賛 いさなの宿 白鯨 主管 太地ソフトバレーボール JAPAN

お知らせ

令和7年度 各種講習日程表（4月～7月）

建設業労働災害防止協会 和歌山県支部
Tel (073) 436-1327 Fax (073) 426-3987

講 習 の 名 称	日 時	場 所	受講料等	受付開始日
職長・安全衛生責任者教育	4月8日（火）～4月9日（水）	和歌山県建設会館 3F 会議室	¥16,115	3月10日（月）～
職長・安全衛生責任者能力向上教育	4月22日（火）	和歌山県建設会館 3F 会議室	¥9,405	3月24日（月）～
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育（6時間）	5月15日（木） 10時～	和歌山県建設会館 3F 会議室	¥9,185	4月14日（月）～
刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育	5月20日（火） 10時～	和歌山県建設会館 3F 会議室	¥11,000	4月21日（月）～
施工管理者等のための足場点検実務者研修	5月27日（火） 13時～	和歌山県建設会館 3F 会議室	¥8,690	4月28日（月）～
建設業等における熱中症予防指導員研修	6月10日（火） 13時～	和歌山県建設会館 3F 会議室	¥8,690	5月12日（月）～
コンクリート橋架設等作業主任者	7月8日（火）～7月9日（水）	和歌山県建設会館 3F 会議室	¥13,145	6月9日（月）～

- 《注》
1. 講義時間は、何れも9:00～17:10（講義内容により、変更があります。）
 2. 受講の申込みは、受講申込書に受講料を添えて持参、または現金書留で郵送をお願いします。
※口座振込をご希望の方は、当支部まで連絡をお願いします。
 3. 受講料等には、テキスト代が含まれています。テキスト代が改定された場合は、受講料を改定させていただく場合があります。
 4. 定員になり次第、締め切ります。
 5. 申込者が少数の場合は、講習会を取り止めさせていただく場合があります。

お知らせ

〔生涯学習講座ご案内〕 一般講座 No. 9

「音楽体操」 講師：宇都宮 恵美 氏

★日 時 令和7年3月21日（金）13：30～15：00

★会 場 太地町公民館 大集会室

★定 員 20名

★参加費 無料

★音楽に合わせて楽しく身体を動かしましょう。

血液循環を促進！免疫アップ！

お気軽にご参加ください。

★参加希望の方は、3月7日（金）～3月18日（火）までに太地町公民館（59-2335）へお電話ください。

お知らせ

〔生涯学習講座ご案内〕 歴史・自然講座 No. 7

「学芸員とめぐる企画展」

一挙蔵出し寄贈品展－くじらの博物館を支える資料たち－

講師：中江 環 氏

★日 時 令和7年3月24日（月）13：30～15：00

★会 場 くじらの博物館

★定 員 20名

★参加費 無料

★参加希望の方は、3月7日（金）～3月18日（火）までに太地町公民館（59-2335）へお電話ください。

内容 くじらの博物館開館55周年を記念した企画展「一挙蔵出し寄贈品展－くじらの博物館を支える資料たち－」を学芸員が解説しながら、みなさんをご案内いたします。55年の歴史の中で、多くの方から寄贈いただいた資料をぜひこの機会にご覧いただければと思います。展示資料の裏話や現在の博物館における資料整理の様子などもご紹介できればと考えています。

お知らせ

国際鯨類施設 3月の臨時開館について

■臨時開館日：令和7年3月8日（土）、22日（土）いずれも10時から16時まで

【問合せ】国際鯨類施設 指定管理者：一財）日本鯨類研究所太地事務所 0735-29-2281

※なお、日程が変更となることもありますので、その際には防災行政無線や一般財団法人日本鯨類研究所ホームページにてお知らせいたします。

『住民福祉課だより』の

各種内容に関するお問い合わせは、住民福祉課までお願いします。

☎ 0735-59-2335 (代)

国民健康保険資格確認書について

国民健康保険の資格確認書の色が

「**うすい緑色**」から「**うすい青色**」に変わります

令和7年3月31日の有効期限満了に伴い資格確認書を更新いたします。新しい資格確認書は「**うすい青色**」です。

新しい資格確認書は、4月1日から使用できます。

※現在お持ちの保険証及び資格確認書「**うすい緑色**」について

新しい資格確認書がお手元に届きしだい、「**うすい緑色**」の資格確認書は、太地町役場にお越しの際にご返却いただくか、ご自分で細かく裁断するなどして、住所や氏名などが他人に知られないよう十分ご注意のうえ、処分してください。

※令和6年12月2日から、保険証が発行されなくなりました。本年3月に更新する資格確認書はマイナ保険証の利用登録を行っていない方のみ対象となります。

○ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

< 住民福祉課 国民健康保険係 >

後期高齢者医療制度にご加入のみなさまへ後期高齢者医療制度の保険料軽減判定基準が拡充されます

和歌山県後期高齢者医療制度の保険料軽減判定基準が変更されますのでお知らせします。

保険料は、被保険者が等しく負担する均等割額（54,428円）と被保険者の所得に応じて決まる所得割額（11.04％）の合計額です。世帯の所得が低い方に対しては均等割額が軽減される措置があります。令和7年度から軽減される対象世帯が拡充されました。計算式は下記のとおりです。

なお、令和7年度保険料額の通知は、7月中旬に送付します。

軽減割合	世帯主及び世帯の被保険者全員の合計所得額	
	令和6年度【参考】	令和7年度
7割軽減	43万円+10万円× (年金・給与所得者の数-1)以下	変更なし
5割軽減	43万円+10万円× (年金・給与所得者の数-1)+ 29.5万円×(被保険者数)以下	43万円+10万円× (年金・給与所得者の数-1)+ 30.5万円×(被保険者数)以下
2割軽減	43万円+10万円× (年金・給与所得者の数-1)+ 54.5万円×(被保険者数)以下	43万円+10万円× (年金・給与所得者の数-1)+ 56万円×(被保険者数)以下

【問い合わせ】 和歌山県後期高齢者医療広域連合 TEL 073-428-6688

全国春の火

「守りたい 未来があるから」

令和7年3月1日（土）から令和7年3月7日（金）

～住宅防火 命を守る 10のポイント～

— 4つの習慣 6つの対策 —

☆4つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない、させない。
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- こんろを使うときは火のそばを離れない。
- コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。



☆6つの対策

- 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは防火品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

～幼年消防クラブ啓発パレードについて～

令和7年3月4日（火）午前10時より幼年消防クラブによる火災予防啓発パレードが行われます。幼年消防クラブは太地町漁業協同組合事務所横（旧紀陽銀行太地支店横）を出発し、沿道を行進した後、太地漁港ふれあい広場にて合奏を披露いたします。みなさま、太地町沿道を行進する幼年消防クラブにご声援をお願いいたします。※雨天の際は、令和7年3月7日（金）に延期いたします。



火事・救急

（携帯電話からでも119番）

災 予 防 運 動

火の用心」

令和 7 年 3 月 1 日
太 地 町 消 防 団

までの 7 日間春の火災予防運動週間になっています。

住宅用火災警報器を設置しましょう 定期的に点検を行きましょう

住宅用火災警報器は、一般的には電池で動いています。火災を感知するために常に作動しており、その電池の寿命の目安は約 10 年とされています。住宅用火災警報器が適切に機能するためには維持管理が重要です。「いざ」というときに住宅用火災警報器が適切に作動するよう、火災予防運動の時期などに定期的に作動確認を行い、適切に交換を行うよう習慣づけましょう。



太地町消防団員募集

○活動内容

町内で発生した水火災等の災害時に防御や救助作業を行います。また、毎月 25 日に消防演習を実施し、水火災の予防及び警戒心の喚起に努めています。本町に居住する満 18 歳以上の方で、消防団活動に真摯に取り組むことができる熱意のある方は下記までご連絡ください。

太地町役場総務課内消防団係 電話：0735-59-2335



は 1 1 9 番 
(番で直接役場へつながります)

福祉学習について

令和7年1月22日（水）に太地中学校にて「地域で安心・安全に生活するために課題の発見・共有し、課題解決のため自分たちにできることは何かをみんなで考える」ことをテーマに災害ボランティアセンター運営訓練を福祉学習として実施しました。

災害ボランティアセンターの機能や役割について学びながら、民生委員の方に協力をしてもらい、災害時にも地域において互いに助け合いのできる関係づくりやその大切さについて学び、一人ひとりが平時からの必要な備えや取り組みを実践して、災害をみんなで乗り越えるために必要なことについて考えました。



認知症サポーター養成講座を開催しました

令和7年1月17日（金）に太地中学校にて、中学1年生と2年生の皆さんに、認知症の人とその家族を地域で支える「認知症サポーター養成講座」を受講していただきました。グループホームつじ園看護師の川口利恵さんによる認知症についてのお話や、太地町地域包括支援センター職員による寸劇を通して、認知症の人の気持ちを考えてもらったり、もし自分達なら何ができただかなどを、グループで話し合いました。また、話しあったことを、困っている高齢者の方を見かけた生徒役となって、実際に生徒の皆さんに演じてもらいました。

受講した後、みなさんからは、「授業で知ったことを家族などに話す」「困っていたら声をかけるようにしたい」など、たくさんのご感想をいただきました。



令和7年1月23日（木）太地小学校4年生を対象に「身体障害（車イス）のある当事者との関わりの中での気づきを大切にする」をテーマに車イスの体験を通した福祉学習を実施しました。

今年も車イス利用者の松尾さんを講師にお招きし、松尾さんの日常生活（趣味の活動や浴室やトイレへの移動など）の様子を、動画や写真を見ながら説明していただきました。説明を受けた後に車イスに乗ってみて、コーンを避けたり、マットの上を走ってみたりして車イスからの視点を体験してもらいました。

当事者の話を聞いて、体験をしてもらった後で、自分が住んでいる町で車イスを使用して移動する時、「どういいうお手伝いがあれば安心・安全に移動できるか」「どんな事に気をつけるべきか」をグループで考えて共有しました。



令和7年1月30日（木）太地小学校6年生を対象に、防災ゲームを活用した福祉教育を実施しました。婦人会の会員さんと共に防災ゲームを通じて、防災についての学びを深めることはもちろんのこと、防災ゲームの進行は児童が中心となり、伝える力や判断する力を育み、また日頃から声をかけあえるよう顔見知りの関係を気づくことを目的としました。

ゲームが終わった後のグループワークでは、防災ゲーム内で挑戦した○×ゲームの内容や、イベントの内容を基に、地震や台風などの災害に自分たちがこれからどのような備えが必要なのかを各自で考えて共有しあいました。

今回、福祉学習をしてもらった6年生は4年生からこれまで学んできた事を振り返ってもらい、中学生になってから今後学びたいこと等を考えてくれました。



あおぞら体操 参加者募集中！

毎週、水曜日と木曜日に町内の各所であおぞら体操を実施しています。あおぞら体操では、ラジオ体操（太地弁 ver.）と太地町オリジナルの健康体操を行っています。申込み不要でどなたでも参加できますので、お近くの実施場所までお越しください。

曜 日	場 所	時 間
水曜日	暖海ゲートボール場	9：30～9：45
	森浦寺前（地蔵院前）	10：00～10：15
	平見消防屯所前	10：30～10：45
木曜日	多目的センター駐車場	9：30～9：45
	東の浜ふれあい広場	10：00～10：15
	平見公園	10：30～10：45



※祝日等によりお休みの日があります。当月の日程は、右ページの予定表に掲載しています

※天候不良の日や熱中症警戒アラートが発表されている日は、午前9時頃に防災行政無線（町内マイク放送）でお知らせします。また、放送内容はメールでも確認いただけますので、希望される方は bousai.taiji-town@raidens2.ktaiwork.jp へ空メールを送信するとメールが届きますので、メール内の URL から各配信情報を選択し、ご登録をお願いします

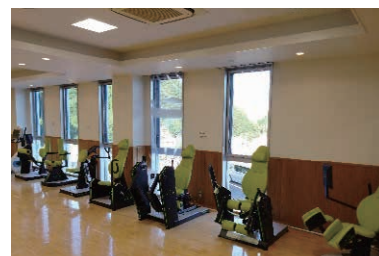
令和7年度 太地町多目的センター トレーニングルーム及び歩行プール利用カードの更新について

令和7年4月に向けてトレーニングルーム及び歩行プールの利用カード更新の時期がやってきましたので、多目的センターまで更新の手続きをお願いします。

更新については、利用者の皆様には何かとお忙しいところご面倒とは存じますが、身体状況等を把握させていただき、常に安全な施設運営を心がけていますのでご協力をよろしくお願いします。尚、使用許可申請書については、前回までの申請時と変更がなければ使用対象世帯の状況及び身体状況欄は空欄で結構です。

持参していただくもの

- ・ 現在お持ちのカード
- ・ 印鑑



トレーニング器具が
新しくなったで～



手話サークル「いるか」3月 活動日のお知らせ

3月の活動日について、下記の通りお知らせいたします。

3月11日(火)

3月25日(火)

太地町社協 TEL 0735-59-3380
代表：宇下 円 TEL 080-3869-1748



「助ける」「手伝う」
左手の立てた親指
の背を右手掌で前
に押し出すように2
回叩く

○ 3月の事業予定表

名 称	日 程	時 間	会場・備考	内容・対象など
あおぞら体操	(毎週水曜日)	9:30~	暖海ゲートボール場	ラジオ体操やご当地健康体操を屋外で実施します どなたでも参加できます
	5日・12日	10:00~	森浦地藏院前	
	19日・26日	10:30~	平見消防屯所前	
	(毎週木曜日)	9:30~	多目的センター駐車場	
	6日・13日	10:00~	東の浜ふれあい広場	
	27日	10:30~	平見公園	
男のトレーニング塾	(毎週水曜日) 5日・12日 19日・26日	9:30 ~10:30	多目的センター	町内にお住いの60歳以上の男性で かつ介護認定を受けていない方 医師に運動の制限を受けていない方
まめなかに倶楽部	(毎週金曜日) 7日・14日 ・21日・28日	9:30 ~10:30	多目的センター	町内にお住いの65歳以上の方 医師に運動の制限を受けていない方
なかよし体操	東新(月曜日) 3日・17日	13:30 ~14:30	東新集会所	椅子に座って行う体操教室です 毎月1回は録画したビデオを見ながら 体操を実施する日があります どなたでも参加できます
	森浦(月曜日) 10日・24日		森浦集会所	
	寄水(月曜日) 10日・24日		寄水集会所	
ふれあいサロン いっぷく亭	寄水(水曜日) 5日	13:30 ~15:30	寄水集会所	茶話会を中心に、不定期で生活や 健康に関するお話を実施します 廃油の回収を行っています どなたでも参加できます
	森浦(水曜日) 12日		森浦集会所	
	平見(水曜日) 19日		平見集会所	
	東新(水曜日) 26日		東新集会所	
社協の エクササイズ教室 (若がえる筋トレ)	19日(水曜日)	19:00 ~20:00	多目的センター	町内にお住いの介護認定を受けて いない方 医師に運動の制限を受けていない方
買い物 支援サービス	19日(水曜日)	バス時刻表は 過去発行の広報誌で 確認をお願いします。	受付開始：3日~ 締切：14日	町内にお住いの65歳以上のひとり 暮らし又は高齢者のみ世帯の方 (要申込み) ※その他非該当となる要件があります

太地町社会福祉協議会／地域包括支援センター

TEL 0735-59-3380/FAX 0735-59-4332/ 本会 HP





写真：漁野美奈氏提供

漁野一家のブルーム墓参旅行

The Ryonos' Broome Japanese Cemetery Visit

令和6年11月に、東京に住む漁野美奈氏は、娘の愛花氏と息子の尚也氏、そして母親の静子氏と一緒にブルームを訪ねた。日本人墓地に眠る彼女の祖父、故漁野実之助氏を弔うのが目的であった。

ブルームでは、浦神出身の田中常博氏と忠美氏、そしてコーリン・マスダ氏の案内によって、漁野一家のブルーム墓参は滞りなく終わった。コーリン氏の父親の故増田晃氏は太地出身で、常博氏も晃氏も、実之助氏と一緒に真珠ダイバーとして働いた仲間であった。

漁野一家がブルームに到着した日に、日本人墓地では晃氏の葬儀が執り行われていた。コーリン氏は、晃氏が撮影した白黒写真の中にありし日の実之助氏

の姿を認め、そのコピーを漁野一家に渡した。実之助氏の写真は水害で失われていたので、皆は涙を流して喜んだという。美奈氏は母親の妹家族に、すぐに現地から写真を送った。

母親をブルームへ連れて行くという十年來の夢を叶えて帰国した美奈氏に伺ったところ、祖父の墓前に立ったときには、やっと来たよという気持ちが溢れたという。田中夫妻から祖父の働きぶりを聞かされた美奈氏は、ルーツを知ること、祖父、母親、自分、そして子どもたちが、連続する時間の流れの中に存在するという事実を改めて考えさせられ、祖父に対する感謝の念を強く覚えたということであった。



▲ ナンキョクオキアミ

春に花咲く オキアミの不思議

3月になりました。桜の開花にはまだ早いですが、海の中では早くも「花咲く季節」を迎えているようです。とはいっても実際に海の中で花が咲くわけではありません。春になると海中の植物プランクトンが増殖する現象を、花などが咲き盛ることに例えて「春季ブルーム」と呼ぶのです。しかもこの海のブルームは、桜の開花のように南から始まって、北へと移動していくことが知られています。つまり、植物プランクトンが増加するとそれを餌とする動物プランクトンも増加し、またそれを餌とする魚やクジラや海鳥などもこれを追って南から北へと移動していくというわけです。

さて、今回はそんなクジラたちの大切な餌生物でもある動物プランクトンの話題を紹介したいと思います。動物プランクトンのうち代表的なものの中にオキアミがあります。世界中の海には、85種類ほどのオキアミがいるのだそうです。しかし、ほとんどの人がオキアミと聞いて思い浮かべるのは、釣り餌などにも使用されているナンキョクオキアミなのではないでしょうか。ナンキョクオキアミはその名の通り、南氷洋全域の表層に生息している人の小指ほどの大きさの甲殻類です。南極海の生態系を支える重要な役割を果たす種となっており、南氷洋に暮らすヒゲクジラの仲間が主要な餌生物としていることでも知られています。

皆さんは、クジラたちがナンキョクオキアミを捕食するシーンをテレビなどでご覧になったことはおありでしょうか。大口を開けたクジラがオキアミの群れに向かって突進していく姿は実に圧巻です。しかし、ここで一つの疑問が浮かびます。オキアミたちはなぜ群れるのでしょうか。一見すると、群れてさえいなければ目立つこともなく、一度に大量捕食されることもないように思えます。しかし、これにはいくつかの理由があるようです。まず一つには、群れることによって1匹でいるよりも自身が狙われる確率を減らすことができるということです。これは群れる生物の多くに共通していることで、「うすめの効果」や「希釈効果」などとも呼ばれています。二つ目としては、生命維持装置として群れを利用しているということがいえるでしょう。オキアミは海水よりも比重が大きいので、1匹でいた場合、泳ぎ続けていないと沈んで

しまいます。しかし、集団になると、多数のオキアミが一斉に海水を下に押すように肢を動かすことで湧昇流が発生し、それによって浮かび続けることができるのだということです。さらに、興味深い調査結果もあります。オキアミたちの心臓の鼓動の動きを調べると、集団から離れて孤立すると目に見えてその動きが速くなるということです。これは天敵であるクジラが近くにいるときと同様のストレス反応だそうで、すなわち彼らが孤立することに明らかなストレスを感じ、群れることを好むらしい生物であるといえるのだそうです。

ところで、私たちはしばしば「プランクトンみたいにぼんやり生きていたらな」などと愚痴を口にしがちです。ここでオキアミたちの名誉のために、決して彼らは為されるがままに無抵抗でクジラに捕食されているのではないということをつけ加えておかねばと思います。いとも簡単に飲み込まれてしまっているようにみえる彼らも、実は生き残りをかけて必死の攻防戦を繰り返しているのです。例えば、危険を察知したオキアミが逃避反応を始めるまでの時間はわずか50～60ミリ秒だといえます。これは、オキアミを人間と同サイズだとすると100メートルを2秒でゴールできるほどということになりますから驚きのスピードです。つまり、クジラの大口に吸い込まれそうになっても、とっさに身をかわして逃げるのが可能なわけで、クジラたちも意外と食事には苦勞をしているのだということが窺えるのです。

ここまでナンキョクオキアミの興味深い生態についてふれてきました。彼らが生態系において重要な役割を果たしていることは広く知られる一方で、それ以外の側面、例えばこの小さな生き物が地球温暖化を防ぐための「生物ポンプ」としての役割を担っていることや、極端に寒い環境に適したことで獲得された独自の消化酵素が私たちの医療に利用されていることなどはあまり知られていません。将来的に私たちを含めあらゆる生き物の暮らしに恩恵を与えてくれる存在となるかもしれないオキアミたちの小さな体に秘められた無限の可能性に期待すると同時に、彼らを含めた地球全体の生物学的富がこれからも維持されていくことを強く願ってやみません。

●参考文献

「黒潮観潮ウォッチ」
「名古屋大学宇宙地球環境研究所図書室ISEE技術部「海洋50のなぜ」」
「ウォード博士の驚異の「動物行動学入門」動物のひみつ」、アシュリー・ウォード著、ダイヤモンド社

《保健衛生関係 3 月行事予定》

健康相談

月 日	事業名	時間	場所
3月12日(水)	成人健康相談(血圧測定)	10:30 ~ 11:00	公民館
		13:00 ~ 13:30	平見集会所
		13:45 ~ 14:15	老人憩の家
		14:30 ~ 15:00	寄水集会所
3月24日(月)	成人健康相談(血圧測定)	14:30 ~ 15:00	森浦集会所
3月26日(水)	乳幼児健康相談	10:00 ~ 11:30	ふれあいルーム

※成人健康相談(血圧測定)で、検尿を希望の方は、自宅で採尿をしてお持ちください。

健康教育

月 日	事業名	時間	場所
なかよし体操 あおぞら体操	なかよし体操及びあおぞら体操の日程は、 本誌19ページの社協だより“事業予定表”欄へ掲載しています。		

健診

月 日	事業名	時間	場所
3月13日(木)	4か月児健診	9:30 ~ 9:40(受付)	那智勝浦町福祉健康センター
	10か月児健診		

白馬からのお便り
姉妹都市「白馬村」コーナー



村道の除雪体制

白馬村内の村道除雪については、村内の除雪事業者に除雪業務委託をしております。

基本的に道路除雪は、車や歩行者の少ない深夜に除雪作業を実施しています。また、急な降雪の場合や除雪した雪を邪魔にならないよう排雪するために日中でも作業をする場合があります。つまり、昼夜を問わず白馬村の道路維持のために作業をしていただいております。

また、除雪車は非常に大きな車両のため、細やかな除雪作業をするのには高度な技術が求められます。そういった除雪事業者の皆様のおかげで降雪の多い白馬村でも道路が通行できる状態を維持できています。

住民基本台帳
(令和7年1月末日現在)
総人口 2,835人
男 1,269人
女 1,566人
世帯数 1,560世帯
(前月比: 総人口 1人増
世帯数 6世帯増)

飼いだ・飼い猫のフンの後始末は、飼い主が責任を持って行いましょう。

また、飼い猫以外には餌を与えないでください。

役場 住民福祉課